

【 注射 】

824 ヘパリンナトリウム（ロック製剤）（出血傾向の患者）の算定について

《令和8年4月30日》

○ 取扱い

出血傾向にある患者に対する静脈内ルート確保時のヘパリン（ヘパリンNaロック用10U/mLシリンジ10mL等のロック製剤）の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

出血傾向にある患者は、血小板や凝固因子の異常により血栓形成のリスクは低いですが、治療により出血傾向の改善に伴ない持続的に留置された静脈内カテーテル等のカテーテル内での凝固が危惧される。血液凝固阻止作用を有するヘパリン（ヘパリンNaロック用10U/mLシリンジ10mL等のロック製剤）の留置ルート内充填は凝血抑止に有用であり、本薬剤の使用法で出血を助長することは考えにくい。

以上のことから、出血傾向の患者に対する算定は、原則として認められると判断した。